

探Q NEWS

探究進学科・文科・理科の活動を発信します Vol.4.

福井県警から感謝状！

Vol.4.

～「止まってください！」手をあげて

R3.7.1

横断歩道を渡る効果に関わる課題研究～

6/25（金）16:30～本校校長室にて、探究文科2年瀧波奈々さんの課題研究の成果が交通安全運動の啓発に貢献したということで、福井県警交通部長より感謝状が渡された。

瀧波さんは1年次の「後期課題研究」（R2年11月～R3年1月）で「止まってください！」という研究を行った。研究の動機は、自転車通学する生活の中で、横断歩道での危険が大きいと感じたことだった。とくに信号のない横断歩道で歩行者が優先されていないことに気づき友達やその保護者にアンケート調査を実施、その研究途中で疑問をもった瀧波さんは、福井県警の交通企画課に自ら電話をし、自分の現在の研究内容を伝え、調査方法等でアドバイスをいただいた。そこで、通学路に信号のない横断歩道で「手を挙げる」場合と「手を挙げない」場合とで、停止する車の台数にどれだけ変化があるかということ进行调查することになった。データには数が必要であり、探究進学科76名にも協力を依頼し、令和3年2月～3月末（学年末考査期間を除く）にかけてGoogle classroomにデータを打ち込んでもらった。その結果、手を挙げなかった場合の車の停止率は14%に対し、手を挙げた場合の車の停止率は32%という数値が出た。最終的に総データ数は318、のべ協力者は54人となった。本人としては、「データ数の少なさや、調査時間と場所に偏りがあるという点で課題が残った。」と感じているが、福井県警の方々からは「よくこれだけのデータを集めて、調査・分析してくれた。」と称賛された。

自分の生活の中のごく身近なところから疑問を見だし、調査・研究をした瀧波さん。小さな気づきや疑問が自分を動かし、外部との連携を生み、社会への貢献に繋がった。彼女の一途で真摯な学びの姿勢と、協力してくれた探究進学科2年の生徒たちに大きな拍手を送りたい。



（福井県交通部長より感謝状を贈呈される

本校探究文科2年 瀧波さん）



（6月26日付
福井新聞に掲載）